

研究タイトル	競技かるた選手を対象にした共感覚の後天的獲得可能性の検討		
研究カテゴリー	行動・社会科学		
学校名	マリスト国際学校		
都道府県	兵庫県		
研究者氏名	木原白桃		
研究者(代表者)学年	3年(高校・高専)		

### 研究の要約

色字共感覚（文字に色が見える）や色聴共感覚（音に色が見える）は、一部の個人が保持する認知特性である。文字や音に結びつく共感覚色は物心つく頃から生じることから、共感覚は後天的ではなく先天的に生じるとの考えが定説である。本研究では、競技かるたに対する共感覚色をデータベース化し、競技かるた訓練を始める前（先天的群）と後（後天的群）で共感覚色形成にどのような差異があるかを探った。

競技かるた選手を対象に質問紙調査を実施し、共感覚の傾向を主観報告した協力者がスクリーニングテストを受検し、競技かるたの取札や詠みに対する共感覚色を iPad 上で塗布し、収集された色データを空間統計学的手法を用いて解析を行った。

解析の結果、歌（ひらがな 31 文字、百首）に対する共感覚色は、協力者別、上の句の 1 音目別、歌全体に生起する高頻度名詞別に異なるクラスターを形成していることが確認された。さらに、先天的共感覚者と後天的共感覚者の色分布を比較すると、両者は明確に異なるクラスターを形成し、それぞれの色選択に顕著な違いが見られた。これは、先天的共感覚と後天的共感覚の色形成メカニズムに差異があることを示している。

本研究は、共感覚が個人毎に異なるという個人特異性と先天的な現象とされてきた従来の見解に異を唱えるものであり、後天的環境要因が共感覚の発現に寄与する可能性を示唆する。この発見は共感覚研究に新たな視点を提供するだろう。

### ●確認事項

研究に用いているもの (人間、脊椎動物、微生物、組み換えDNA、細胞組織、どれも用いていない)	人間
大学・研究機関などでの実験や装置使用があるか	はい(使用した): 関西学院大学、神戸大学
昨年までの研究からの継続研究か	はい(継続研究である)